

史談 目次

第31号（2025年発行）

内 容	執筆者
遺るものと遺すもの	守谷 英一
令和四年度史談会総会講演 佐野利器の建築ツアー	宮野 悦夫
令和五年度史談会総会講演 加藤和徳氏「羽前の庚申塔－庚申縁起・三戸～最新の研究まで－」について	守谷 英一
令和六年度史談会総会講演 北野博司氏「絵図を読む楽しさと恐ろしさ」の概要と感想	大内 紀子
寄稿 横浜と白鷹を行き来しながら思うこと	永岡 大輔
史談会活動報告	
調査・研究・エッセイ 迷信や行事の認知度調査 「旅日記」を読めるようになりたいくて 「道中記」を読んで知ったこと 二十四孝絵馬（表紙絵紹介） まむし屋敷	佐藤 京一 小関 和良 守谷 英一 大内 紀子 江口 儀雄
広報しらたか掲載記事 「さんぽ道」 絵馬に込められた願いごと（十王） 鉄門海上人の碑（蚕桑） 中山寺の一丈塔婆（中山） 黒鴨石（鮎貝） 二つの境銘石（荒砥） 荒砥の地藏様（荒砥） 鮎貝阿弥陀壇のこと（鮎貝） 中世城郭・杉沢館（東根） 龍徳寺の川柳碑（十王） 荒砥の駅と製材所（荒砥） 土葬の思い出（中山・蚕桑・十王）	平吹 利数 高橋 克範 竹田 伊智子 加藤 晃一 守谷 英一 佐藤 京一 守谷 英一 石井 紀子 江口 儀雄 佐藤 京一 竹田 伊智子 長澤 智恵子 嶋林 淳子
編集後記	大内 紀子

第30号（2022年発行）

内 容	執筆者
明治十二年における置賜郡のコレラ流行	竹原 万雄
仏坂観音	平吹 利数
白鷹山の形成史	加藤 晃一
安楽院の年中行事について	高橋 克範
表紙 写真説明（金澤寺神農図）	石井 紀子
自分史講座の報告	渋谷 敏己
白鷹古文書研究会の昨今	菅野 志郎
荒砥町に設置された「養蚕伝習所」関係文書類	守谷 英一
編集後記	

第29号（2019年発行）

内 容	執筆者
彫工 関正と虚空蔵堂の山号額について	石井 紀子
黒柿に魅せられて	竹田 伊智子
渡部弥一郎と良三	丸川 二男
若き日にキリスト教を学んで	佐藤 興七
戊辰戦争を上杉文書から読み解く	皆川 清彦
平成二十八年度 研究発表 黒滝の歴史をたどる	平吹 利数
山口区羽黒神社の本地仏について	石井 紀子
平成二十九年度 研究発表 観音寺観音堂千手観音像のルーツ	平吹 利数
平成三十年度 研究発表 山形県の地史 伊達氏と能 「手仕事の生活誌－白鷹紬と深山和紙を中心に－」 について	加藤 晃一 渋谷 敏己 守谷 英一
福島県・浪江町に行く／『鶴見俊輔伝』を読む	
活動日誌 1	
活動日誌 2	
編集後記	

第28号（設立60周年記念号 2017年発行）

内 容	執筆者
◇史談会60年あれこれ 会長 丸川二男 ◇ごあいさつ 町長 佐藤誠七 ◇発足60周年を記念して 教育長 沼澤政幸	
史談会60年の歩み	平吹 利数
I 湯殿山・塩田行屋・八日講 ・ふたたび湯殿山へ ・塩田行屋の文化財概観…展覧会に伴う調査で判明したことについて ・出来町八日講	伊藤 隆 宮本 晶朗 江口 儀雄
II 鮎貝の歴史と文化 ・鮎貝城址 ・天正15年の鮎貝氏と伊達正宗の動向 ・古文書読みの落とし穴	平吹 利数 渋谷 敏己 佐藤 與七
祖父。高橋與三郎について	高橋 敏郎
「中里の池」のこと	竹田 伊智子
蓮窓寺・法讃寺・豊忠・常観	丸川 二男
中山寺 木造三十三観音像の施主人調査について	石井 紀子
奥村幸雄先生が書かれたもの	守谷 英一
史談会と古文書研究会	菅野 志郎
「文化財めぐり」に参加して	竹田 美紀

第27号（2015年発行）

内 容	執筆者
白鷹の歴史カルタ	
深山和紙を漉く 今利一郎さんの聞き書き	守谷 英一
出羽三山まいり、今昔	菅野 志郎
玉川君の碑	佐藤 与七
深山観音堂御本尊、年代測定の件、その他	丸川 二男
滝野番所跡の発掘調査	平吹 利数
荒川幸一氏を悼む 弔詞 父のことなど 荒川幸一氏を偲ぶ もう一度お会いしたい	丸川 二男 荒川 一美 平吹 利数 小杉 もり子
会員から 史談会の会員になって 良き先輩との出会い 神明堂周辺には生活があった	海老名 脩治 庄子 忠宏 竹田 伊智子
祖父・舩橋惣三郎のこと	八木 茂那子
高橋利三郎の随想記	

第26号

内 容	執筆者
地名伝説 ー白鷹町の地名について	新関 昭男
「かぎひっぱり」の記憶	守谷 英一
幻の左荒線を歩く	菅野 志郎
ビワとサルスベリ	丸川 二男
郷土資料発掘 若宮町誌	

第25号

内 容	執筆者
高玉のお大師様	佐藤 與七
「馬鳴山・西明寺」のこと	丸川 二男
羽黒山秋の峰体験記	神保 義弘
草木塔について	守谷 英一
源氏物語千年紀に「仮名」の鏡を	奥山 清子
平成20年度 国指定重要文化財観音寺観音堂 保存修理事業について	鈴木 秀昭
白鷹町の文化財を新たな視点で見よう	平吹 利数

第24号

内 容	執筆者
大正生れ荒砥育ちのひとり言	多田 良子
歴史の物語を語る	佐藤 久美子
芳賀秀次郎と「われら愛す」の周辺	丸川 二男
「おさらい帳」片々	荒川 幸一
『折居の里をたづねて』の中から	海老名 脩治
白鷹町上人稗史	奥村 幸雄
金色山大日寺史跡を訪ねて	小杉 もり子
天狗林墓石群のこと	守谷 英一
仏教について	丸山 正志
「鮎貝村長日誌を読む」後日譚	佐藤 與七
越後（中条）より鮎貝入城した中条家と新地	青木 邦夫
町文化財の再発見	平吹 利数
平成19年度の歩み	

内 容	執筆者
史談会五十周年を祝す	白鷹町史談会会長 江口 儀雄
ごあいさつ	白鷹町長 橋本 光記
史談会発足五十周年を記念して	白鷹町教育委員会教育長 加藤 義弘
特別寄稿 「桜田家文書」所収の鮎貝城落城に関する伊達政宗書状を読む	安部 俊治
史談会五十年を振り返って 懐古片々	荒川 幸一
会員の広場 宮本常一の「調査ノート」のこと 邪道な思いで入会した私……反省 監視哨・愛宕山に思う 雑感 太田ヨウさんとの事	守谷 英一 庄子 忠宏 菅原 光一郎 清野 功一 奥山 清子
研究ノート あの頃のことを 置賜地方における民間信仰の謎 廻り屋遺跡発掘調査 蚕から紬まで	荒川 幸一 奥村 幸雄 平吹 利数 丸山 正志
平成17年度・18年度の事業に参加して 古文書講座を受講して 川西町の文化財を訪ねて 十王・鷹山地区の文化財を訪ねて	佐藤 京子 小杉 もり子 平吹 利数
白鷹町郷土史研究会会報・史談会会報 目次一覧	
白鷹町郷土史研究会・白鷹町史談会の五十年の歩み	
編集後記	編集委員長 平吹 利数

第21号

内 容	執筆者
壺丈塔婆	布施 昭一
少年期の体験から覗く民族の諸相	奥村 幸雄
青木家文書「算法指南」あれこれ	荒川 幸一
白鷹町青年団の歴史	丸山 正志
『白鷹思い出写真館』の編集を終えて	平吹 利数
天童市の文化財を訪ねて	小杉 もり子
奥村幸雄先生が齋藤茂吉文化賞を受賞	

第20号

内 容	執筆者
歴史を掘る（滝野村御用留帳を中心に）	荒川 幸一
水と火と霊と	奥村 幸雄
同人雑誌『不在』にみる横山七郎	丸山 正志
新田開発に盡した人々	布施 昭一
龍門図書館のご案内	平吹 利数
山辺町の文化財を訪ねて	小杉 もり子

第19号

内 容	執筆者
最上川の舟運を開いた西村久左衛門	新野 昌生
「壬申地券」について	荒川 幸一
東潮句碑と衛足句碑の弁	奥村 幸雄
残されていた免許皆伝書	布施 昭一
「荒砥町報」第四号を読む	丸山 正志
前会長の訃音に憶う	
この人に聞く 白鷹町史談会	
平成14年度史談会文化財めぐり	

第18号

内 容	執筆者
天文の乱中の鮎貝盛宗書状を読む	安部 俊治
これは意外	荒川 幸一
大貫杜哉（衛足）とその子ども達	奥村 幸雄
鮎貝氏の系図を追う	御代田 寛
旧家大滝七右衛門家のこと	布施 昭一
ハヤセ、馬車引き ー山で生業が成り立った頃ー	丸山 正志

第17号

内 容	執筆者
俳書「出羽安良登」「菊之前日」「遅日庵選」を読む	奥村 幸雄
山口新地のくらし	金田 章
日本に入ってきた大乘仏典に思う	丸山 正志
置賜の湯殿山塔について	藤巻 光司
中山街道をゆく	布施 昭一
「村々不行跡者呵申渡手扣」の世界	荒川 幸一
地名研究のすすめ	渋谷 敏己
鮎貝の地名考	御代田 寛

第16号

内 容	執筆者
口絵 白鷹町の地蔵様	三浦 文吉
特別寄稿 天正二年頃の「伊達氏人数日記」に見える白鷹町域の軍団について	安部 俊治
横越郷の今昔	金田 章
“横越”地名について	井上 忠吾
続 深山観音堂のルーツ	平吹 利數
鮎貝郷土史の一模索	御代田 寛
自分史を反芻する	荒川 幸一
方言が綴る生活史	奥村 幸雄
見つかった写真	丸川 二男
平成十一年度「一日研修」レポート	布施 昭一

第15号

内 容	執筆者
郷土の俳人 和田東潮	奥村 幸雄
置賜の製糸工女さんたち	丸山 正志
村の生いたち	奥山 龍雄
チョウ雑記	加藤 和彦
農作業用語について	金田 章
近世の養蚕を考える	荒川 幸一
本庄繁長公 庄内十五里原千安川畔戦 兜論争に終止符	御代田 寛

第14号

内 容	執筆者
教育勅語・御真影・奉安殿 －蚕桑小学校の沿革誌から－	丸川 二男
伯楽桑嶋新右衛門尉仲綱の馬医文	金田 章
青木家文書「萬金銀請取拂帳」を読む	荒川 幸一
黒滝とその開削について	高橋 運七
愛宕ものずき村	三浦 文吉
一日研修で米沢を旅する 一日研修で 普門院を訪ねて 米沢の史跡を巡る	菊地 美代子 菊地 克次 江口 儀雄

第13号

内 容	執筆者
青木家文書「於新砥萬覚」のこと	荒川 幸一
橋本孫太郎の鰐口	金田 章
橋本孫太郎家旧宅新築様式について	高橋 伸一
荒砥八景の詠者矢口醸山と家譜について	蒲生 清男
鮎貝築城600年を記念して 鮎貝氏と鮎貝城址について 山口にのこる鮎貝伝説 鮎貝城築城600年祭にあたって	渋谷 敏己 江口 諄一 御代田 寛
史談会 平成8年度活動の足跡	

第12号

内 容	執筆者
一高生の鮎貝村疎開	大貫 英一
正念寺の本尊について	荒川 幸一
下条氏について	御代田 寛
高玉郷の舟生氏	金田 章
私の50年前はこうだった	史談会

内 容	執筆者
特集 照射・深山観音堂 深山観音堂の建物と仏像について 深山観音の時代背景について 深山観音堂の「らくがき」について （むだ骨折りのそんそん） 平成六年度国指定重要文化財観音寺観音堂 （深山観音）保存修理工事について	平吹 利数 金田 章 荒川 幸一 大木 健一
研究ノート 『琢磨学校』伝 小考 矢羽木式部は本庄繁長四天皇の一人 仏教と輪廻思想	高橋 二夫 御代田 寛 丸山 正志
平成六年度の遺跡発掘 中町西遺跡発掘調査のあらまし	金田 章
町内おもしろ地名調査	史談会

第10号 — 10周年記念号—

内 容	執筆者
十周年記念誌発刊にあたって	史談会会長 奥村 幸雄
ごあいさつ	白鷹町長 紺野 貞郎
史談会十周年記念号に寄せて	白鷹町教育委員会教育長 佐藤 格
史談会発足十周年にあたって	前教育長 渡部 代吉
史談会の今後の活躍を期待して	長井市史談会会長 竹田 市太郎
思い出すことども	山形県うきたむ風土記の丘考 古資料館館長 川崎 利夫
追想	史談会前会長 菊地 保助
史談会十年の足跡	奥村 幸雄
芸能特集 祭文語りの系譜 瞽女という名の窓 小嶋俊親日記に見る芸能（娯楽） 鮎貝八幡宮の祭り 浅立諏訪神社と獅子舞の起源について	埼玉大学教授 兵藤 裕己 丸川 二男 金田 章 新野 耕一 寒河江 宏
研究ノート 集団移転した旧栃窪村 上の台の百体庚申塔 毘沙門さまのお獅子 安楽院の涅槃図 浅立諏訪神社のこと 鮎貝熙氏について 伊達政宗は鮎貝に来た 地名散歩Ⅳ 方言礼讃	本間 興一 金田 章 土屋 新次 黒田 利一 沼沢 信利 江口 諄一 荒川 幸一 志水 道夫 御代田 寛
史談散策 足元談議 常光寺境内一坪地藏由来記 屋敷神になった天神様 民間伝承としての豊作凶作予知 どうあるべきか 私と史談会 食卓の風景 雑感 史談と交流 随想	斎藤 清玄 沖 篤五郎 梅津 忠吉 丸山 正志 三浦 文吉 木村 清子 樋口 みわ子 菊地 美代子 竹波 忠次 鈴木 茂

思い出の陶片 新入会員として 趣味のしがらみ 晩学 史談会と私 蜘蛛の糸	多田 良子 高橋 敏郎 志水 道夫 寒河江 宏 太田 ヨウ 江口 儀雄
白鷹町史談会10周年記念特別企画	タブー調査
白鷹町史談会	

第9号

内 容	執筆者
特集・称名寺裏経塚	
経塚と山中他界	奥村 幸雄
称名寺裏遺跡発掘調査について	金田 章
関寺山経塚あれこれ	荒川 幸一
写経・納経・埋経	江口 儀雄
県内の経塚と笠松山・称名寺裏山の経塚について	川崎 利夫
研究ノート	
平成四年度遺跡発掘のあらまし	金田 章
地名散歩Ⅲ	志水 道夫

第 8 号

内 容	執筆者
伝説を訪ねて II 松川周辺の伝説 舟場六地藏と鮎貝子守堂の伝承 谷風より化粧廻しを貰って来た月見山 中山の熊野神社と中山寺	丸山 正志 新野 耕一 寒河江 宏 大滝 秀昭
研究ノート 鮎貝城第五代日傾斎宗重公墓碑探訪 長谷部吉之助 ―当町方面の足跡― 町指定文化財 諏訪神社について 諏訪神社本殿・拝殿 地名散歩II	御代田 寛 金田 章 沼沢 信年 加藤 吉男 志水 道夫
研究発表会 ヘラ書き文字のある須恵器 置賜地方にみられるモチさまざま	金田 章 奥村 幸雄

第 7 号

内 容	執筆者
特集 伝説を訪ねて 城下町散歩 伝説「山屋長者」の虚実 オコリ八幡の言い伝えについて 十王の伝説	御代田 寛 金田 章 紺野 一衛 守谷 一男
研究ノート 戊辰戦争従軍日記（内山家文書） 一里塚考 庄内人・置賜人 地名散歩	金田 章 金田 章 三浦 文吉 志水 道夫

第 6 号

内 容	執筆者
特集 私の昭和	三浦 文吉 沼沢 峰蔵 青木 元 奥村 幸雄 木村 清子 寒河江 宏
研究ノート 地蔵考（細越子育地蔵） 杼窪廣氏・治国の館はどこに 六面幢と宝篋印塔 千人塚 白鷹町の獅子舞	石坂 順一 御代田 寛 三浦 文吉 加藤 利助 大滝 秀昭
研究発表会 中世城館址調査について 明珍の兜異聞その後 草木供養塔	斎藤 清玄 沖 篤五郎 奥村 幸雄

第 5 号

内 容	執筆者
論文 置賜地方の仏山について 置賜地方における粃貯蔵について ふるさと探訪 今昔物語 縁切り地蔵 地蔵尊物語 三日月石について	奥村 幸雄 寒河江 宏 沖 篤五郎 菅 新作 紺野 一衛 紺野 一衛
研究発表会 鮎貝御役屋御門をさがしに 白鷹町の文学碑と花角力供養塔を訪ねて 書の歴史について	新野 耕一 三浦 文吉 菊地 保助
研修旅行 国道113号沿いの史跡を訪ねて（宮城・福島編）	山口 恵子

第 4 号

内 容	執筆者
論文 蘭学蘭医 平 帰一覚え書	荒川 幸一
研究発表会 そばの話 土方弘海と長谷部吉之助 日本美術について －安土桃山、江戸中期に興った絵馬の主流－	土屋 新次 金田 章 沼沢 信年
研修旅行 「奥の細道紀行の跡を訪ねて」	小野 昭子

第 3 号

内 容	執筆者
研究ノート 庄内足輕再考	金田 章
研究発表会 荒砥繁昌記 蚕業と林業 浅立の石碑について 大工仕事と道具の今昔	三浦 文吉 菊地藤兵衛 長岡 次郎
研修旅行 多賀城跡	多田 良子
資料紹介 置賜新四国八拾八ヶ所霊場	奥村 幸雄

第 2 号

内 容	執筆者
研究ノート 徐晏波作「荒砥十二景」について 渡部代吉氏架蔵 徐晏波墨蹟掛軸について 長谷堂合戦について	半澤 經一 半澤 經一 柿崎 則夫
研究発表会 折居部落と山伏とのつながり 新見の鮎貝氏関係文書 蚕桑村の歴史をひもといて 絵馬Part2	斎藤 清玄 金田 章 木村 磯太 江口 儀雄
研修旅行 戸塚山、稻荷森、天神森 奥の細道紀行雑感 奥の細道紀行（2日目）	荒川 幸一 鈴木 俊美 大村 潤一
鮎貝の歴史から…2題 明珍の兜異聞 杼窪氏・鮎貝の歴史に新しいページ	沖 篤五郎 御代田 寛

第 1 号

内 容	執筆者
◇史談会の発足について 会長 菊地 保助	
研究ノート 『蒲生氏郷知行高の考察資料のまとめ』について 吉田義信先生からの書簡（蒲生清男宛） 助けの観音 西高玉薬師堂縁起	奥村 幸雄 金田 章
研究発表会報告 楽しい骨董（白鷹町の美術） 先祖はどこから？ 昭和激動期の西置賜地方における米の生産	三浦 文吉 御代田 寛 寒河江 宏
研修旅行 十六羅漢の憶い出	原田 三郎
資料紹介 荒砥町八乙女八幡神社再建ノ工事軌跡について 鮎貝八幡堂再建記	蒲生 清男 金田 章